

養成校制度
を大幅変更

JAFAsの資格が 取得しやすくなりました！

養成校の学生の皆さんにとって、グループエクササイズ指導に特化したGFI資格*1を取得するチャンスです



解説 公益社団法人日本フィットネス協会
永岡裕昭

総務省から公益財団法人健康・体力づくり事業財団、内閣府公益認定等委員会事務局を経て、現在は公益社団法人日本フィットネス協会業務執行理事

平成27年11月から養成校に関する制度が変わりました

	変更前	変更後（平成27年11月以降）
料 金	認定料等は養成する種目数によって金額が変動	価格を一本化
	受験料等は受験する種目数によって金額が変動	価格を一本化
	講師の謝金の一部を養成校が負担	講師の謝金は全て JAFAs が負担
受験の仕方	筆記試験が不合格となった場合は再受験のために料金が必要	筆記試験が不合格であっても受験料は何度でも無料
	「ベーシックインストラクター」「インストラクター」*2の両資格を取得する養成校の場合、それぞれ実技試験を行う	「インストラクター」の実技試験のみでよい
新たな制度	—	インストラクターレベルの資格を3種目以上取得した学生は「優秀学生」として記念品の進呈、および表彰をする（養成機関の場合も「優秀者」として表彰）

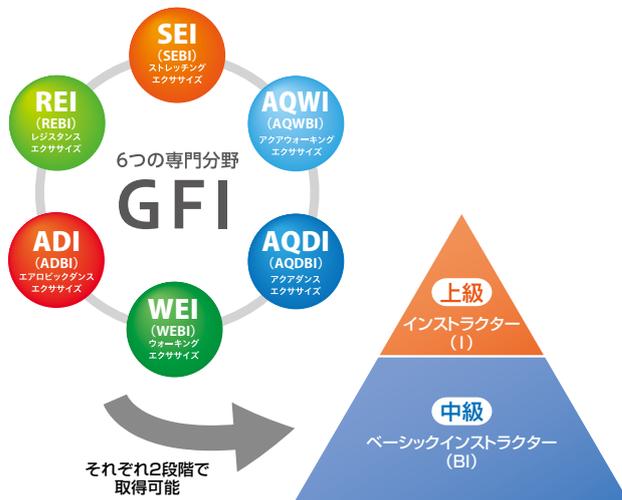
*1 GFI資格

「GFI資格」とは、右図の6つの資格の総称です。JAFAs（公益社団法人日本フィットネス協会）では、集団へフィットネスの指導を行うことを「グループエクササイズ」と呼んでいます。参加者の健康維持・向上のために指導を行う指導者は「グループエクササイズフィットネスインストラクター（GFI）」として、6つの専門分野（種目）ごとに資格の認定を行っています。

*2 「ベーシックインストラクター」「インストラクター」

ベーシックインストラクター（BI）とは、動作の見本を示す実演能力と、動きを教える指導能力を身につけた中級レベルの指導者のことです。

インストラクター（I）とは、実演能力と指導能力に加え、プログラム作成の能力とより高い指導力を身につけた上級レベルの指導者のことです。



養成校に関する制度を見直した背景には何がありますか。

私どもの資格は、平成26年度から集団に対して質の高い指導を行うことができる資格、すなわち GFI 資格に新しく生まれ変わりました。

プロのフィットネス指導者として長く活動したい方などのために「エアロビクダンス」だけでなく、「レジスタンス」や「ストレッチング」、エクササイズとしての「ウォーキング」、さらに「アクアダンス」や「アクアウォーキング」の6種目のフィットネスエクササイズの集団指導ができる資格となりました。

しかし、それにより養成校の先生方からそれまでの取得制度に比べて複雑でわかりにくい、手続きが面倒である、種目を増やすことによってコストアップするなどのお声を多くいただくことになりました。そこで、改めて「GFI 資格」養成校制度を全面的に見直し、平成27年11月から本格実施することとなったのです。

GFI 資格を学生のみなさんにお勧めする理由は何ですか。

この GFI 資格のポイントは、在学中に質の高い、しかも複数の指導者資格が取れるということです。数ある指導者資格の中でグループ指導に特化し、指導現場で活用できるノウハウを習得したことを証明する資格として、現場からも非常に評判の高い資格です。

現場ではトータルフィットネスコンディショニングのニーズが強く求められており、多種目を指導できるマルチインストラクターに需要が集まっています。一見、パーソナルが主流のように思われますが、実はそうではなく、グループエクササイズ、集団指導のできる人が求められているのです。

JAF の GFI 資格は、とにかく自ら手本を示して集団に対してしっかり指導することができる資格です。運動指導の技術だけでなく、学術的な理論や指導の仕方等幅広く学ぶことのできる資格なので、将来プロの運動指導者になって活躍したい方はもちろんのこと、教育現場に行きたい方や医療・介護の分野での指導を考えている方、さらに IT 関係や生命保険業界などを考えている方にとっても、社会に出て必ず役立つものとなります。そういう意味では、就職に強い資格といってよいでしょう。このような内容は他では学べません。養成校に在学している学生のみなさんにとってはチャンスでしょう。この機会に GFI 資格でスキルを高めて、社会へはばたいいただきたいと思えます。

この資格は、各種目とも高い指導力の取得を目指す上級レベルに加えて、フィットネス指導が専門ではない保健師さんや管理栄養士さん、あるいは介護の仕事に携わっておられる方であっても、現場ですぐに運動指導をすることができる、中級レベルの資格もご用意しております。こちらも体育系の学生のみなさんだけでなく、それ以外の学生のみなさんにも取得させてあげることをお勧めいたします。

わたくしどもも資格取得後も誠心誠意を込めてしっかりと

ブラッシュアップできるお手伝いをいたしますので、学生のみなさんにも安心して GFI 資格取得に挑戦していただきたいと思えます。

新たに表彰制度を設けたのはなぜですか。

これまで養成校のなかに、在学中インストラクターレベル3種目以上お取りいただくという優秀な学生のみなさんがいらっしやっただけなのに、何もしていませんでした。そのような学生のみなさんに対し、今回から、学校へ表彰状と記念品をお贈りさせていただこうとさっそく手配いたしました。ぜひ、先生方から学生のみなさんに直接お渡しいただきたいと思えます。

今回の制度変更により、どのようなことが期待されますか。

今回の変更で一番大きな点は、料金のところだといえます。そもそも、この「GFI 資格」養成校制度は収益を上げることを目的とした事業ではありません。今回の料金の改正には、手続きの簡素化だけでなく、学生のみなさんに金額を気にせず、多くの資格を取得してほしいという思いがあります。

その手続き等が行われる養成校においても、受験料等料金がシンプルにすべて価格が一本化されましたので、これに伴う事務手続きが簡潔になったといえます。それだけではありません。これまで、評価していただいた先生への謝金について、養成校にもご負担をお願いする仕組みにしておりましたが、今後はそんなわずらわしいことはいたしません。全てわたくしどもで負担いたします。

具体的に挙げますと、例えば新規校の審査料は何種目でも16,000円、認定料は何種目でも42,000円です。また、受験料は在学中であれば何種目でも一人17,000円としています。合格後の資格登録においても、登録料は在学中であれば何種目でも一人13,000円です。なお、インストラクターレベル合格者の方には、登録料のほか日本フィットネス協会に入会していただくこととなります。入会金は無料、入会年会費も養成校の学生のみなさんは、初回は無料といたします(養成機関は5,000円)。

他にも、試験についてはベーシックインストラクターとインストラクターの両方の資格取得を目指す養成校の場合には、これまでは2回実技試験をする必要がありましたが、今後は実技試験はインストラクターレベルのみで取得が可能となります。

とにかく、養成校の先生方あるいは事務担当の方々の負担を大幅に軽減いたしました。この点が事務の負担軽減が図られたという大きなポイントだといえます。

* * *

現在進行形で新しく養成校になりたいとお考えいただいている大学や専門学校の関係者の方には、積極的にわたくしどもへご相談いただきたいと思えます。もし学生のみなさんなどに対して、資格や運動指導の現状、あるいは国の健康・体力づくり施策などの話を聞かせたいとお考えがございましたら、いつでもおっしゃってください。わたくし手弁当ですぐにかけつけます！